

鄧小平体制に亀裂

路線闘争が深刻化

西側化政策に内部の反発

嶺 雄中

(東京外大教授)
(現代中国学)



中国での胡耀邦総書記の辞任は、まず鄧小平体制の内部

分裂とみたい。これまでも保守派、改革派の対立は言われていた。しかし、鄧小平も胡耀邦も同じ改革派だ。それを切り取るを得なかつたのは、路線闘争がかなり深刻化していったことを物語っている。

このところ、中国の対外開放政策、経済改革はうまく進んでいないとの見方が強かつただけに、追いつめられた改

革派が胡耀邦をスケープゴートにしたといえる。保守派は意を強くしているが、鄧小平は非常に苦しい立場に置かれていると思つて。胡耀邦は鄧小平が自分の「後継者」としていた人物であり、今後、後継者がどうなるか、非常に難しくなる。

最近の学生デモをみててもわかるように、改革派が導入した開放政策は、結果的によりラディカルな、共産主義そのものに疑問を投げかける勢力も生じた。そういう状況下で、権力上層での亀裂が起きていた。だから、若手実力者の一人とされた胡啓立(政治局委員・書記)の立場も、当然崩れてくるだろう。

これにより、中国が急速に進めてきた対外開放政策、経済改革は、かなり遅れるだろう。これまで各地域で拡大したとされてきた企業の自主権なども、担当者が「拡大」には慎重にならざるを得ない。

「日本でも改革派が勝つて進むだろうが、「ブルジョア的民主」と「社会主義的民主」のより本質的な問題について、悩むことになるのではないか。

中国共産党発表全文

【北京十六日共同】中国共産党中央政治局拡大会議が十六日開かれた。会議で胡耀邦総書記が在職中に党の集団指導の原則に違反し、重大な政治原則問題において過ちを犯したことを検討することも

①胡耀邦同志の辞職要請を全会一致で同意した②趙紫陽同志を総書記代行に全会一致で推薦する③以上の二項目は決定は次期党中央委員会総会に提案、追認を求める④胡同志の政治局員および政治局常務委員としての職務は引き続き保持される。

政治局拡大会議は、全党は引き続き党十一期三中総会を引続き十一月三中全会(一九七八年十二月)以来の党中央路線、方針および各内外政策を実施し、四つの基本原則、ブルジョア階級自由化反対を堅持し、経済建設を

中心とし力を集中して社会生産力を発展させることを堅持し、全面的改革を遂行し、対外開放と国内経済活性化の政策を堅持し、社会主義的民主主義を完全な形で、愛国統一戦線をうち固め発展させ、全党の同志および全国各民族を動員、組織し、一致団結し、刻苦奮闘し、第七次五カ年計画の任務の完全な実現に努力しなればならない、と指摘した。

今回の政治局拡大会議出席したののは、政治局員十八人、候補二人、中央書記局員四人、中央顧問委責任者十七人、中央規律審査委責任者二人、その他の同志である。

胡耀邦氏の横顔
昨年十一月末以来公式の場面に姿を見せず、病気休養中と伝えられていたが、十六日辞任に追い込まれた。過去二回の失脚体験を含め、半世紀に及ぶ政治経歴で、常に行動をともにしてきた鄧小平中央顧問委主任も今回は辞任を支持しており、再起への道は険しい。また鄧氏の下で中国の開放・改革路線推進の中心人物だっただけに、内外への影響も極めて大きい。

鄧氏と同じく約一五〇〇の小柄な体ながら共産党時代に鍛えた鋭い舌は有名。日本国内の復古調を「誤国主義」と決めつけたように、改革をめぐる発言は常に激しく、長老からの反感を強めたとの見方もある。家庭には七八年来日した李昭夫人との間に四子。湖南省出身、七十二歳。

改革派の中心人物

京に行き、新民主主義青年団(共産主義青年団の前身)の中央書記に。胡啓立政治局員と共青団人脈はこのとき形成される。六六年からの文化大革命での失脚、七〇年代初め

の復活、七六年天安門事件後路線の突破役を務めていたのに対し、鄧氏は周鼎の政治状

況を見ながら、必要に応じて保守派との妥協も図り、路線を守る分担。このため、七九年宣伝部長当時の文芸開放では八〇年後半以降、保守派の標的になった。今回は経済改革には政治改革が必要と力説したことが裏目に出たよう

氏と同一軌跡をたどった。再復活後は鄧氏の民主化、改革路線の片腕として活躍。八〇年二月には党中央総書記、八一年六月には華国鋒氏に代わって主席に就任した。八二年九月の党大会での規約改正で主席制を廃止、公式上

のトップである総書記になった。しかし新設の中央顧問委主任になった鄧氏が実力ナンバーワンであることは自他とも認められていた。

二人の役割は胡氏が常に新路線の突破役を務めていたのに対し、鄧氏は周鼎の政治状

況を見ながら、必要に応じて保守派との妥協も図り、路線を守る分担。このため、七九年宣伝部長当時の文芸開放では八〇年後半以降、保守派の標的になった。今回は経済改革には政治改革が必要と力説したことが裏目に出たよう